



3. 単純任意抽出法

昭和53年度の福島県の中学一年男子の数は、15,013人です。

いま、この中から、1,600人を単純任意抽出法によって抽出することを考えます。

(方法1) 当たりくじが1,600本、はずれのくじが13,413本、計15,013本のくじをつくり、各中学校をめぐって歩き、一年生男子一人一人にくじを引いてもらって、当たりくじを引いた1,600人を標本とします。しかし、この方法はとても大変で、実施不可能です。

(方法2) この中学1年生男子に、何らかの方法で、1番から15,013番まで、番号をつけておきます。

中学校	中一男子の数	番号
1	211	1～211
2	104	212～315
3	136	316～451
4	96	452～547
⋮	⋮	⋮

番号をつけておきます。

例えば、職員録にのっている中学校順に、左のようにして番号をつける方法もあります。

いま、袋の中に、1番から15,013番までの番号をつけた15,013枚のカードを入れておき、よくかきまぜながら、カードを1枚

ずつもとにもどさないで1,600枚とり出し、それらのカードの番号と同番号の生徒を抽出する方法があります。このような抽出の方法を非復元抽出法といいます。この場合、一度に1,600枚のカードを取り出しても同じです。